



データでみる福島再生

最近の動き

○特定復興再生拠点区域整備の進捗状況

- ・5月末時点で、以下の工事を新規に契約しました。
令和2年度富岡町特定復興再生拠点区域被災建物等解体撤去及び除染等工事(その3)

○福島県内の除染仮置場等の状況

- ・仮置場等総数1,359箇所のうち、551箇所では除去土壌等を保管中、808箇所では搬出が完了し、525箇所の仮置場で原状回復が完了しました。

○中間貯蔵施設の整備の現状

- ・除去土壌の分別処理を行い、5月末時点で、約402万 m^3 (輸送量ベース)の土壌を土壌貯蔵施設に貯蔵しました。
- ・廃棄物の焼却及び焼却灰の灰処理を行い、5月末時点で、灰処理ばいじんを封入した鋼製角形容器356個を廃棄物貯蔵施設に貯蔵しました。

○中間貯蔵施設への除去土壌等の輸送の進捗状況

- ・2020年5月末時点で、累積約736万 m^3 (全体の約52.6%)の除去土壌等を中間貯蔵施設へ輸送しました。

○中間貯蔵施設用地の状況

- ・用地取得については、5月末時点で契約者数1,762人、面積約1,166haについて契約しております。

○国直轄による対策地域内廃棄物等の処理進捗状況

- ・災害廃棄物等の仮置場への搬入については、4月末時点で、約265万トンの搬入を完了しました(うち、約47万トンが焼却処理済、約162万トンが再生利用済)。
- ・被災家屋等について、4月末時点で、約16,700件の解体撤去申請を受付済みであり、約14,900件を解体撤去済みです。

○国直轄による対策地域内における仮設焼却施設の設置状況

- ・4月末時点で、約114万トン(除染廃棄物を含む)*****を各仮設焼却施設で処理しました。

*****仮設焼却施設での処理済量を訂正いたしました。(訂正日:令和4年1月12日)

○特定廃棄物埋立処分施設への搬入状況

- ・5月末時点で、125,227袋を特定廃棄物埋立処分施設へ搬入しました。

○放射線に関するリスクコミュニケーション活動状況

- ・令和2年度活動について、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、自治体等と調整を行うとともに、今後の開催に向けて、具体的な感染防止対策を講じながら準備を進めています。
- ・「環境再生プラザ：1件」、「その他（ガンマカメラ活用）：6台日」の活動を実施しました。